

各ワーキンググループの取組状況

<b>魅力発信・商業地賑わいワーキング 活動報告</b>		担当取組項目： 情報発信等 1～4,7～13, 20～23, 67 商業施設等 97～105 教育 5,6 雇用 111, 112
<p>個別に行われている取組を連携させる必要があることから、平成 30 年度に向けてこのWG組織を継続することになった。WG会議では引き続き、情報交換や取組の調整等を行い、活動グループを支援する。3つの活動グループが活動を継続し、向島ニュータウンの魅力発信や商業地の賑わいづくりにつなげていく。更には、小中一貫校整備をきっかけとして、子育て層の移住を視野に入れて取組む。</p> <p>公社では第4, 5 駐車場（公社所有地）の有効活用が進められており、商業地の賑わいづくりをめざす協議体設置が予定されている。WGメンバーである事業者や地域住民が、協議体に参加するなど、商業地の賑わいづくりに参加していくことが求められている。</p> <p><b>【活動グループの取組】</b></p> <p>①向島まつり（春の子どもまつり）</p> <p>②魅力・賑わいのための組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄向島駅前 魅力発信・賑わいづくりアンケート調査</li> <li>・千姫に係る勉強会</li> </ul> <p>③地域情報化に向けた活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都文教大学放送部がFM845を通じて、まちづくり活動の取材や情報発信</li> <li>・地域情報化に係る住民アンケートの検討</li> </ul>		
<b>主なメンバー</b> （敬称略）	地域住民	増田, 西田, 橋爪, 橋本, 宇野, 福井, 上代, 奥田, 神門, 西谷, 田嶋 他
	事業者	商店会, 中嶋農園, 山本牛乳店, 千姫を偲ぶ会, 中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校, 公社, 伏見区 他
<b>今年度まず取り組むアクションプログラム・取組</b>	7 8 9 21 22 23 97 98	まちあるきマップ作成と歴史のまちあるき企画の実施 向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施 農を活かした来訪者の呼び込み ポータルサイト開設・運営 タウン誌の発行 地域放送局（団地ラジオ）の設立・運営 24号線沿い賑わい施設整備の検討 向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用
<b>主な活動の報告</b>	第4回 WG 会議	○経過報告 ○今後の取組検討 ・向島まちづくり商業地賑わいアンケートについて ・地域情報化について（団地ラジオ, タウン誌, ホームページ）
	第5回 拡大 WG 会議	○向島ニュータウン第6街区内の第4・第5駐車場の有効活用について ・公社からの事業説明と意見交換
	第6回 WG 会議	○経過報告 ○今後の取組検討 ・魅力発信・商業地賑わいWGの組織拡大について ・次年度の取組について

**第4回ワーキング 平成29年11月11日（土） 参加者：20名**

**○各団体からのこれまでの取組内容の報告**

- ・向島まつり 10/29開催で進めてきたが台風で延期となった。組織づくりができたことを活かして春にステージの縮小版を実施する予定である。
- ・向島及び向島NT魅力・賑わいのための組織づくり 千姫に係る講師に来てもらい、学習会を行った。
- ・陸と空二面の向島ヘリツアー 伏見・向島まち歩きマップを作成し、まち歩きとヘリツアーを計2回行った。第1回(10/1)は28名、第2回(11/4)は35名の参加があった。
- ・向島駅前野菜販売朝市 ローソンの駐車場を借りて、すばる高校の生徒や中嶋農園の協力を得て実現した。雨天であったが30分ほどで完売し、ローソンの買物客増加にも貢献できた。

**○商業地賑わいづくりに係るアンケート調査について**

- ・調査対象、調査方法、調査項目、調査主体について検討した。

**第5回ワーキング 平成29年12月10日（土） 参加者：23名**

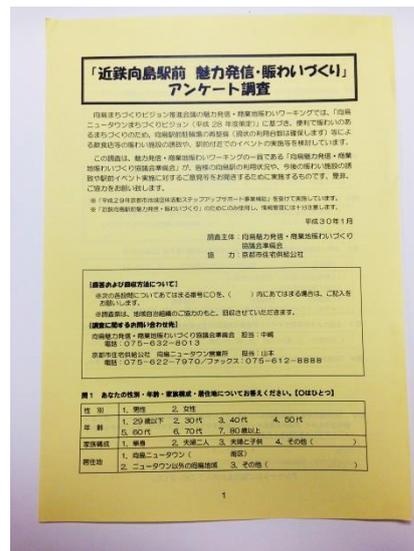
**○第6街区内の第4・5駐車場（公社所有地）の有効活用について**

- ・公社から事業者公募の説明後、意見交換を行った。
- ・向島ニュータウンには活用できる公社所有地として、①向島駅前、②NAS跡地、③第4,5駐車場がある。公社としては、まずは第4,5駐車場から事業を進める。事業者公募において、事業者提案において配慮すべき事項の検討が必要になることから、賑わいにつながるようにWGメンバーから意見を出しあった。
- ・立地が望まれる商業施設や公募条件、選考委員における住民及び商店会代表の参加、24号線に向けた商店会の再整備、ビジョンに基づくニュータウン全体を考えた事業をめざすこと、等の意見が出された。

**第6回ワーキング 平成30年1月28日（土） 参加者：19名**

**○今年度の取組報告**

- ・向島まつり 春の子どもまつり 3/4（日）午前11時～午後3時  
ステージは向島藤の木小学校体育館 模擬店は小学校正門周辺で開催
- ・ラジオ番組等で地域情報化 京都文教大学の放送部がFM845と連携してまちづくり活用の取材や放送を行ってきた。まちづくり通信、ラジオ、ホームページを活用して地域情報化をめざす。住民ニーズを把握するために、地域情報に係る住民アンケートを計画している。
- ・近鉄向島駅前 魅力発信・賑わいづくりアンケート調査 公社や地域の自治組織の協力を得て、1月中の配布、2月上旬の回収をめざして進めている。アンケート調査を通じて、組織づくりのきっかけとする。



**○次年度に向けたWGの組織づくり等について**

- ・平成30年度に向けてこのWG組織を継続する。WGの会議では引き続き、情報交換や取組の調整等を行い、活動グループの取組を支援する。
- ・3つの活動グループが活動を継続し、向島ニュータウンの魅力発信や商業地の賑わいづくりにつなげていく。更には、小中一貫校整備をきっかけとして、子育て層の移住をめざす。

- ・ 公社が第4・5駐車場（公社所有地）の事業を通じて、賑わいづくりの協議体設立を計画しており、WGからも積極的に参加することを確認した。

#### **来年度・今後に向けた課題**

- ・ 地域情報化について、団地ラジオ、タウン誌、ホームページを活用し、向島NTならではの資源を活かした情報発信。魅力資源の集約化と、魅力的なストーリーづくりに今後取り組む必要がある。
- ・ 公社の第4・5駐車場（公社所有地）事業と連携した近鉄向島駅前、商店会の賑わいづくりに取り組む必要がある。

#### **今後の予定**

- 魅力発信・賑わいづくりアンケート調査のまとめ
- 向島まつり 春の子どもまつり開催 3/4（日）
- 地域情報化に向けた活動のまとめ

住環境ワーキング 活動報告		担当取組項目：24～40, 24～40, 65, 66, 106～110
<p>地域ニーズの把握や課題抽出のため、現地調査やアンケート調査などを、地域住民・各種団体が連携しながら取組が進められている。</p> <p>○市営住宅の改善に向けてのアンケート調査 1 街区を対象にアンケート調査を施行実施した。今後、アンケート調査の結果をまとめて報告する。</p> <p>○住環境パトロール 今年度は住環境パトロールを 1 街区～11 街区まで全域を対象に実施し、市営住宅などの共有部分の劣化や安全性の問題点が浮かび上がってきた。特に歩道の段差やデコボコ道、街区公園のベンチやペーパメントの傷み、公園の出入り口に設置されている柵などにおいて課題が散見された。</p> <p>○バス路線の改善 向島 5 学区にてアンケートと要望案を回覧し、意見聴取を行った。1 月に近鉄バス本社と協議の場を設け、要望書を提出した。それを受けて近鉄バス社から課題等を挙げられた。今後、この課題に対して解決策を探っていく。</p> <p>○向島藤ノ木学区における横断防止柵の塗装作業について 京都市伏見土木事務所より、向島藤の木小学校の児童と横断防止柵にイラストを描くワークショップの実施協力の要請があり、3 月 12 日に実施する運びとなった（向島藤の木小学校児童生徒 5,6 年生 53 名が参加予定）。</p>		
主なメンバー (敬称略)	地域住民	高木 (向島二ノ丸学区民児協), 増田 (向島二ノ丸学区子ども見守り隊) 日高 (二の丸北学区社協), 福井 (二ノ丸北各種団体連絡協議会), 宇野 (向島藤ノ木学区社会福祉協議会), 山内 (向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会), 山崎 (向島中央公園愛護協力会), 神門 (向島駅前まちづくり協議会), 高木 (笑顔つながろう会), 中田 (伏見区身体障がい者団体連合会), 田嶋 (8,9 街区自治会長), 内林, 福間, 森田 (1 街区), 橋詰 (3 街区), 志賀 (5 街区), 松本 (6 街区), 他
	その他	小林 (京都文教大) 他
今年度まず取り組むアクションプログラム	15	市営住宅集会所・空き家の改修と活用
	34	中央公園の再整備と、東公園とも合わせたバリアフリー化等の検討
	65	住環境パトロール活動の実施
	108	既存路線バスの利用促進の取組
主な活動の報告	第 6 回 WG 会議	○バス路線の改善について ○住環境パトロールの実施報告 ○市営住宅の改善について
	第 7 回 WG 会議	○近鉄バスルートとダイヤ改善について ○1 街区市営住宅の実態アンケート調査について ○中央公園リフレッシュ事業の進捗状況 ○向島藤ノ木学区における横断防止柵の塗装作業について
	第 8 回 WG 会議	○1 街区市営住宅の実態アンケート調査について ○近鉄バスルートとダイヤ改善について ○中央公園リフレッシュ事業の進捗状況 ○向島藤ノ木学区における横断防止柵の塗装作業について

**第6回ワーキング 平成29年11月7日(火) 参加者:13名**

**○バス路線の改善について**

- ・向島ニュータウン3学区に加え向島学区, 向島南学区を加えた5学区で, 近鉄バスの利便性向上に向けたアンケートを回覧し, 向島5学区の総意のもとに, 近鉄バス宛ての要望をまとめ, 近鉄バス本社と協議の場を設ける。

**○住環境パトロールの実施報告**

- ・今年度は住環境パトロールを1街区~11街区まで全域を対象に実施した。パトロールで挙げられた問題点などをまとめていく。住環境パトロールは, 来年度以降も継続実施の予定。

**○市営住宅の改善について**

- ・アンケート案を作成し, WGメンバーにてアンケート項目の加筆修正を行った。今後, 1街区にて試験的に実施する。

**第7回ワーキング 平成29年12月5日(火) 参加者:17名**

**○近鉄バスルートとダイヤ改善について**

- ・近鉄バスのルート変更・ダイヤ改正要望について向島5学区で回覧を実施した。その結果, 寄せられた意見について反対意見はない旨が報告された。12月中に近鉄バス本社に出向いて要望書を提出する予定。

**○1街区市営住宅の実態アンケート調査について**

- ・1街区で実施中のアンケートが12月中旬に回収予定。アンケート集計をWG長が行い, 1月のWGにて報告予定。

**○中央公園リフレッシュ事業の進捗状況**

- ・12月中に樹木の間引き, 低木の撤去などが終了し, 年明けから年度末までに新たに植栽が行われる旨の報告がなされた。

**○向島藤ノ木学区における横断防止柵の塗装作業について(伏見土木)**

- ・京都市建設局土木管理部伏見土木事務所より, 今年度予算で約100メートルの横断防止柵を更新するに際し, 柵へのイラストを描くことの説明がなされた。向島藤ノ木小学校の児童と横断防止柵にイラストを描くワークショップを実施協力の要請があった。

**第8回ワーキング 平成30年1月30日(火) 参加者:19名**

**○1街区市営住宅の実態アンケート調査について**

- ・今後, アンケートを集計予定。次回のWGにて報告する。来年度は, 5・7・8・9・10・11街区にて実施を検討する。

**○近鉄バスルートとダイヤ改善について**

- ・1月16日に近鉄バス本社との話し合いを実施。要望に対しては, 赤字路線ということもあり, 住民が合意した上で, 交通局の了解, 経費負担の免除などの要件をクリアし, 京都市がとりまとめた上で, 検討する。
- ・1月29日に第4回向島地域5学区代表者会議を実施。今後, 京都市や交通局と相談のもと, 近鉄バス本社との話し合いで挙げられた課題を整理していく旨が話し合われた。

**○中央公園リフレッシュ事業の進捗状況**

- ・2月まで間伐し, 3月から植樹が行われる予定の旨が報告された。

○向島藤ノ木学区における横断防止柵の塗装作業について（伏見土木）

- ・向島藤の木小学校と協議し、3月12日13時15分～15時25分に、5,6年生（53名）とデザイン画を横断防止柵に塗装する（柵12枚・向島藤の木小学校近くの通学路に設置）。
- ・向島藤ノ木学区自治連合会や住環境WGメンバー等へ、3月12日の塗装作業や横断防止柵の取替後の防草シールの貼付け作業の協力要請の依頼があった。



**来年度・今後に向けた課題**

- ・住環境パトロールを来年度も引き続き実施し、地域住民による危険箇所の確認を実施していく。
- ・1街区にて試行的に実施した市営住宅の改修実態調査アンケートについて、他の街区でも実施し、実態を明らかにしていく。
- ・今後、向島ニュータウンの環境整備が急務であり、向島藤の木小学校の児童とのワークショップの様に、行政と地域住民が協力し、住民参加型による取組が必要と考えられる。

**今後の予定**

○第9回住環境ワーキング

日時 平成30年3月6日（火）午後7時 場所 京都文教マイタウン向島（MJ）

事項 1街区市営住宅の実態アンケート調査報告、次年度の運営ならびに活動について、他

## 子ども若者支援ワーキング 活動報告

担当取組項目：41～52

### ○これまでの取組の充実と向島藤ノ木学区等での新たな取組のスタート

これまでも行われてきたキッズキッチンや学習会、子ども・若者支援の取組の充実とともに、ビジョン策定後に新たに実現した向島藤ノ木学区における藤の木子どもキッチンや小学生・中学3年生対象の学習支援、また伏見青少年活動センター中心に行っている高校生年代への居場所づくりや文教シエルパのラジオ番組への中学生の出演などの取組など、これまでに取組が少なかった学区や年代を対象した活動が広がり始めている。

### ○子ども若者拠点づくり実行委員会による、連携体制の構築

また、それらの活動の立ち上げや継続実施にむけた支援、情報共有を「子ども若者拠点づくり実行委員会」が主体となって実施するなどし、各取組が有機的に連携することで、子ども・若者の成長に合わせた切れ目のない、地域での支援の取組・体制づくりを目指し、活動が進展してきている。

他、新たな活動としては、サポート助成を活用した「子育て世代悩みなんでも相談窓口」の検討（意見交換会や講演会の企画）が行われている。

主なメンバー (敬称略)	地域住民	高木(向島二ノ丸学区民児協)、増田(向島二ノ丸学区子ども見守り隊) 日高(二の丸北学区社協)、長谷川(3街区G棟)、本田、河野(伏見地区更生保護女性会)、上田(向島中学校PTAOB)、松本、松田、山内(向島藤ノ木学区民児協)、西谷(向島南学区、向島中学校PTAOG)、土橋(MJ学習会運営) 他
	事業者	須釜(城南保育園)、大濱(むかいじま健幸プラス) 田中(中部はすの実ひろば)、大下、村井(伏見青少年活動センター)、桐澤、田中、山本(伏見区社協) 他
	その他	三林、杉本(京都文教大)、美留町(向島駅前まちづくり協議会)、沖野(市住宅公社)、山本(区役所子どもはぐくみ室) 長澤(龍谷大) 他
	役割	リーダー：検討中 司会進行：山内(向島藤ノ木学区民児協)、長谷川(3街区G棟) 書記：長澤(龍谷大)
今年度まず取り組むアクションプログラム・取組	43 50	既存施設・新規施設において住民主体により、子どもが楽しみ学べる拠点「アフター5 スクール」づくりの推進 夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援
主な活動の報告	第5回 WG 会議	○前回の振り返り ○各活動の状況 ・子ども若者拠点づくり実行委員会、学習支援他 ○ワーキングの運営体制・役割分担について ・ワーキンググループのリーダー、会議進行役等

### 第5回ワーキング 平成29年11月25日(土) 参加者：16名

#### ○各活動の状況

- ・MJでの小学生学習会：10月から種智院大学(ソーシャルワーク研究会)の学生が参加。
- ・MJでの中学生学習会：中3生の受験に向けた学習支援、中1・2生との勉強への姿勢の温度差
- ・高校生年代の居場所づくり：月1回高校生世代向けにMJを開放。10月は高校生年代2名、中学生1名(とその親)の計4名が参加。顔が見える関係ができつつある。11月は来場0名。
- ・他、MJキッズキッチンや伏見区更正保護女性会からの報告があった。
- ・個々の活動は上手く動いているが、各活動の連携はまだうまくいっていない。今後の連携が課題。
- ・中部はすの実ひろば：今年度から月1回の出張ひろばを実施。11月4日に向島南自治会館で実施し18名の親子が参加。お母さん同士でのつながりがない方の参加。広報が今後の課題。

**○向島藤ノ木学区での取組**

- ・藤の木子どもキッチン：10月28日に城南児童館で実施。城南児童館・保育園の先生にも協力をいただいている。大人が見守り，異年齢で子どもたち同士でうまくやってほしいと考えている。始まったばかりだが，子どもたちの居場所，地域の大人に頼ることができる環境につなげたい。
- ・城南児童館での小学生学習会：学生中心に運営。11月第2週にスタートし月2回火曜日に実施予定。宿題と英語を教える場。参加希望児童も増えつつある。

**○向島春の子ども祭について**

- ・荒天中止となった向島まつりに代わって子どもまつりとして実施する方向で検討中であることが報告された。

**来年度・今後に向けた課題**

- ・住民によるこれらの活動の連携による切れ目のない向島ならではの子どもを包括的に支えていく体制構築が今後期待されている。学校主体の取り組みと住民による活動のネットワークをつなげていく，教育分野と福祉の分野をつなげていくことも課題である。
- ・中国帰国者等の多い多文化のまちとして，子どもたちの国際交流等の取組も求められている。

**今後の予定**

**○第6回子ども・若者支援ワーキング**

日時 平成30年2月3日（土）午前10時

事項 子ども・若者にかかる取組状況共有・相談，今後の取組方向性の検討 等

暮らし・安心 活動報告		担当取組項目：14～19, 53～64
<p>先進事例による向島の地域特性に即した高齢者サポート拠点の模索や、障がい当事者を中心とした地域活動やまちづくり活動、コミュニティの場の創出に向けた取組を推進している。</p> <p>○先進事例や施設の視察，交流会</p> <p>藤沢市「小規模多機能ホームぐるんとぴー」の代表・菅原健介氏を招き，交流会を開催し，向島の取組と藤沢市「小規模多機能ホームぐるんとぴー」の取組について学び，今後の参考とした。</p> <p>○にじいろ準備プロジェクトミーティング</p> <p>障がい当事者が中心となり，多様性に富む向島地域における様々な方の居場所づくりを目指して活動を実施している。</p>		
主なメンバー (敬称略)	地域住民	高木，佐々木（向島二ノ丸学区民児協），増田（向島二ノ丸学区子ども見守り隊），日高（二の丸北学区社協），山内（向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会），小山（向島公団住宅自治会），福井（二ノ丸北各種団体連絡協議会），小島（1街区），黒多，矢吹，櫻田（5街区），木村（11街区），藤井（3街区），遠山（夕陽紅の会）他
	事業者	平田，佐藤（愛隣館），岩城，福井（むかいしま病院），谷口（あじさいガーデン伏見），西川（地域包括支援センター），高（こうふく介護サービス）高田（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション），他
	その他	吉村，馬場，杉本（京都文教大），中嶋（伏見区役所），美留町（向島駅前まちづくり協議会）他
今年度まず取り組むアクションプログラム	53	街区集会所等による高齢者サポート拠点（介助ステーション，食事スペース，バリアフリー整備などのリニューアルなど）づくり
	55	障害者の地域活動，まちづくり活動への参画とその支援
	59	中国帰国者等の生活課題，ニーズや自助グループの活動におけるニーズを把握し，支援策等を検討
	60	中国帰国者等間のネットワークづくり及び中国帰国者と地域住民のサポーターとのネットワークづくり
主な活動の報告	交流会	○「小規模多機能ホームぐるんとぴー」との交流会 ○にじいろ準備プロジェクトミーティング
<p><b>交流会 平成 29 年 11 月 13 日（月） 参加者：24 名</b></p> <p>少子高齢化が進む向島ニュータウンのまちづくりを考える場として，藤沢市の「小規模多機能ホームぐるんとぴー」の代表・菅原健介を招いた交流会を実施した。「小規模多機能ホームぐるんとぴー」は，藤沢市の UR 都市機構湘南ライフタウンパークサイド駒寄団地に位置し，「住民ひとりひとりが相互に助け合う循環型地域づくり」を目指している。最初に，健幸プラス訪問看護ステーション「まちの保健室」と愛隣館を見学し，向島の高齢者・障がい当事者を中心としたコミュニティ施設の取組について共有化を図った。</p> <p>その後，菅原氏より事業説明がなされた。「ぐるんとぴー」は日本で初めて団地の一部屋を使用した介護事業であり，スタッフ・利用者・住民による多世代が交流し，相互に支え合う仕組みづくりに取組んでいる。またコミュニティレストラン&amp;カフェやルームシェア，団地の空き部屋を活用した事例などが報告された。</p>		



### にじいろ準備プロジェクトミーティング

向島ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業に採択された「にじいろ準備プロジェクト」では、多様性のある居場所作りに向けた各団体との連携及び地域住民への理解促進を目指している。

毎月定例のミーティングを開催し、情報共有や事業実施の検討を行っている。これまで「バザールカフェ」と「京都文教大学 ANTENNA カフェ」の見学を実施した。今後、高齢者の見守りを目的とした「ゆたんぼ作戦」、多様な住民同士でお奨めする映画を観てお話し、お互いを知り合う「向島大学シリーズ シネマとトーク」(3月3日「春の子どもまつり」イベント)、3月4日「春の子どもまつり」でのカフェ出店、「3.11 メモリアルキャンドル in 向島」での東日本大震災避難者との交流などの準備に取り組んでいる。

また、障がいを理由に自治会の役が任されなかったりなど、地域生活における差別解消に向けた取り組みを自治会等と検討できる仕組みをつくる。

### 来年度・今後に向けた課題

- ・今年度に設立された健幸プラス訪問看護ステーション「まちの保健室」等の地域コミュニティスペースの更なる活用や、他地域の先進事例で得た知見を活かして向島の地域特性の即した高齢者のサポート拠点づくりのモデル案を具体化していくことに着手する。
- ・障がい当事者の地域活動・まちづくり活動については、今年度は助走期間としてプロジェクトを実施し、議論を重ねてきた。来年度以降も障がい当事者を中心とした多様な人々の居場所づくりのために、引き続きサポートが必要と考えられる。

### 今後の予定

#### ○第4回暮らし安心ワーキング

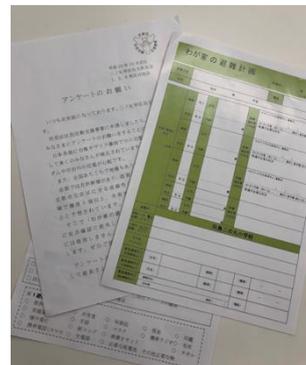
日時 平成30年2月17日(土) 午前10時

事項 にじいろプロジェクト準備会のその後の取組み、次年度の運営体制について他

防災・防犯ワーキング【防災】活動報告		担当取組項目：68～87
<p>防災・防犯の2つにワーキング会議を分け、それぞれに関係する地域役員や住民，事業者，行政が参加し，取組を進めている。</p> <p>○市営住宅空き住戸の避難所活用検討と向島二ノ丸学区における取組の進展</p> <p>防災WGでは主に向島地域での災害リスクの高い水害時の上層階への緊急避難を目的とした「市営住宅空き住戸の避難所活用」の検討と市との協議，また，向島二ノ丸学区における「我が家の避難計画づくりとアンケート」の実施，それらを踏まえた災害時要配慮者の避難支援体制づくりが進められている。</p>		
<b>主なメンバー</b> (敬称略)	地域住民	珍田(向島藤ノ木学区自主防)，岡崎(二の丸北学区自主防) 児玉(二の丸北学区自主防)，増田(向島二ノ丸学区自主防)，矢吹(日本自立生活センター(向島二ノ丸学区))，高木(向島二野丸小学校子ども見守り隊他)，上代(向島学区自主防災会)，野崎(向島南学区自主防災会)，奥田(向島南学区) 他
	事業者	佐藤(愛隣館)，西川(地域包括支援センター)，桐澤(伏見区社協) 他
	その他	杉本(京都文教大)，東山，吉川(伏見区役所まちづくり推進担当，総務防災担当)，伏見消防署向島出張所 他
	役割	リーダー：珍田(向島藤ノ木学区自主防) 書記：佐藤(愛隣館)
<b>今年度まず取り組むアクションプログラム・取組</b>	70 75 76 78・79 90	配慮必要な住民の情報共有とニーズ調査 災害時要配慮者の避難誘導，支援の関係，体制づくり(関連：74 避難行動シートづくり) 防災訓練の見直し，充実(訓練への多様な人の参加) 空き家の避難所活用とマニュアル・ルールづくり 危険箇所等のマップづくり
<b>主な活動の報告</b>	第7回 防災WG	○前回の振り返り ○市営住宅空き住戸の避難所活用に向けた市との協議報告 ○向島二ノ丸学区：わが家の避難計画づくり・アンケート中間報告
	第8回 防災WG (第3回 防犯WG と合同)	○これまでの防災・防犯各WGでの取組状況共有 ○防災WGの取組検討 ・市営住宅空き住戸の避難所活用の進捗状況 ・向島二ノ丸学区でのアンケート中間報告・今後の避難支援体制づくりの検討
<b>第7回ワーキング 平成29年12月6日(水) 参加者：10名</b>		
<p>○市営住宅空き住戸の避難所活用に向けた市との協議報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのWGでの検討内容を提案書にまとめて，11月10日京都市住宅室へ5学区の代表者が訪問し，協議を行ったことの報告があった。</li> <li>・方向性としては，火災時一時入居用に確保している住戸の災害緊急時の一時利用による活用の可能性を検討していることが報告され，以後は伏見区自主防災会第3ブロックの珍田会長が窓口となり，協議していくこととした。</li> </ul>		

### ○向島二ノ丸学区でのアンケート中間報告・今後の避難支援体制づくりの検討

- ・向島二ノ丸学区で実施された「我が家の避難計画」シートの全戸配布，アンケート実施について報告があった。
- ・シートやアンケートを今後，自主防災会等で避難支援に活用していく場合の情報の取り扱いについて課題が示された。
- ・今後，アンケートやシートの内容を分析し，水害時に4階以上に避難する必要がある世帯の把握や把握できた要支援世帯への避難支援体制の検討を行っていくことを確認した。



### 第8回ワーキング 平成30年1月27日（土） 参加者：15名（第3回防犯WGと合同開催）

#### ○市営住宅空き住戸の避難所活用の進捗状況

- ・活用可否等の返答はWG時点では市からは示されておらず，速やかに珍田会長から市へ確認をした上で，今後，示された活用方法による地域での管理体制の検討を進めていくことを確認した。

#### ○向島二ノ丸学区でのアンケート中間報告・今後の避難支援体制づくりの検討

- ・アンケートは配布戸数の約半数 660 件を回収できた。支援体制づくりの検討につなげるため，各自自主防災会での管理と活用を検討していくことにしている。
- ・アンケート等の結果から避難支援を必要とする世帯，上層階へ避難を希望する世帯が具体的に明らかになっている。
- ・これらを踏まえて，具体的な避難支援体制について，自主防災会とともにWGでも検討を進めることを確認した。

#### ○その他

- ・液状化のリスクがあり，その対応についての問題提起があった。事前や実際に起きた場合にこのWG等では限られているとの意見も示された。



### 来年度・今後に向けた課題

#### ○市営住宅の空き住戸の避難所としての管理体制の構築

- ・避難所活用の実現には，日々の管理体制や災害時の管理体制を地域で構築することが条件であり，向島二ノ丸学区での避難支援体制検討と合わせて，今後具体的な検討が必要。

#### ○向島二ノ丸学区をモデルとした避難支援体制の構築

- ・向島二ノ丸学区での避難支援体制の検討と構築とともに，これらをモデルに他学区への普及も検討していく必要がある。

#### ○ビジョン記載の他の取組の推進

- ・29年度取り組んできた2つの取り組みは一定進捗があった。ビジョン記載の重点項目を中心に次に取り組むことを明らかにし，次のステップに移る必要がある。

### 今後の予定

#### ○第9回防災ワーキング会議

日時 平成30年3月18日（日）午前10時～

事項 市営住宅空き住戸の避難所活用の進捗状況，運用に向けた地元体制の検討

向島二ノ丸学区「我が家の避難計画」を活用した避難支援体制の検討，アンケート集計報告等

防災・防犯ワーキング【防犯】活動報告		担当取組項目：88～96
<p>防災・防犯の2つにワーキング会議を分け、それぞれに関係する地域役員や住民，事業者，行政が参加し，取組を進めている。</p> <p>○まち全体での美化キャンペーンの検討</p> <p>防犯 WG では，これまで情報交換や連携が少なかった防犯や交通安全等に関わる地域役員を中心のメンバー構成とし，地域の安全上気になる箇所や課題について共有し，安心安全マップの情報更新を行っている。また，新たな取組として，住民のまちへの意識の向上と危険な場所等の発見，美化による犯罪の起こりにくいまちづくり，まちの魅力アップと発信を目的とした地域で実施されている美化活動の連携や新たな美化キャンペーンの検討が進められている。</p>		
主なメンバー (敬称略)	地域住民	中西（向島；伏見地域交通安全活動推進委員協議会，向島交番協議会，向島防犯委員），福井（二の丸北；世界一安心安全おもてなし担当者会議）駒井（向島二ノ丸；交通安全推進委員），山内（向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会），山本（向島南；世界一安心安全おもてなし担当者会議，安心安全ネットワーク），田嶋（8・9街区自治会長，向島藤ノ木学区社会福祉協議会）他
	事業者	—
	その他	杉本（京都文教大），東山（伏見区役所まちづくり推進担当），伏見警察署 他
	役割	リーダー：検討中 書記：検討中
今年度まず取り組むアクションプログラム・取組	90 91	危険箇所の把握，マップづくり等 住民による美化活動の充実
主な活動の報告	第2回防犯WG	○前回の振り返り ○各学区・各活動での防犯の取組情報共有・問題意識共有 ○一斉クリーンキャンペーン実施の是非・可能性について
	第3回防犯WG（第8回防災WGと合同）	○これまでの防災・防犯各WGでの取組状況共有 ○防犯WGの取組検討 ・地域での一斉クリーンキャンペーン実施の検討
<p><b>第2回防犯ワーキング 平成29年11月19日（日） 参加者：10名</b></p> <p>○第1回内容の確認および防犯WG立ち上げの経緯について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョン掲載の防犯の具体的取組について確認した上で，WGの目的，メンバー構成の趣旨について確認した。</li> </ul> <p>○安心安全マップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公園の木々伐採や剪定が進んでいるが，道路歩道側などの繁茂への対応が必要，ハナミズキ街路樹を植樹している歩道について幅が狭く，車椅子とのすれ違いなど危険 等の新たな危険箇所の情報の追加を行った。</li> <li>・向島交番通信で犯罪発生箇所を示した地図が掲載され，配布されていた。年間の情報をとりまとめて発信できないか</li> <li>・安心安全マップについては情報更新し配布するかどうか今後検討していく。</li> </ul> <p>○一斉クリーンキャンペーン実施の是非・可能性について</p>		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、各所で美化活動が実施されているが、それらでさえ人材不足である。</li> <li>・かかる費用の資金調達をどうするか課題、また、実施主体を調整・決定することが困難である。</li> <li>・まずは各学区等で取り組まれている清掃活動や美化活動についての実態把握から始めることとし、こどもたち中心だと参加者も集まりやすいことが想定されるため、学校と連携した実施ができないか検討する。</li> </ul>
<p><b>第3回防犯ワーキング 平成30年1月27日（土） 参加者：15名（第8回防災WGと合同開催）</b></p>
<p>○これまでの防災・防犯各WGでの取組状況共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯WGのメンバーの紹介、危険箇所の情報共有や安心安全マップの情報更新を行ってきたことを確認した。</li> </ul> <p>○地域での一斉クリーンキャンペーン実施の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学区、学校、公園愛護協力会による美化・清掃活動の状況を共有した。</li> <li>・美化活動が防犯につながることで、参加する住民等のつながりができること、危険箇所の発見につながるなど、まちでの美化・清掃活動を広げていくことの趣旨を確認した。</li> <li>・実施方法として、すぐに一斉美化活動を実施することは困難であることから、日を決めた「自宅やマンション棟の前から掃除するキャンペーン」でまちの美化に参加する人を増やしたり、「既存の美化活動や見守り隊などから危険箇所の報告を上げてもらう仕組みづくり」、や「向島まつりの前にまち全体を綺麗にする一斉清掃」などのアイデアが出され、今後整理した上で具体化していくこととした。</li> </ul>
<p><b>来年度・今後に向けた課題</b></p>
<p>○WGメンバーの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防犯や交通安全等の地域委員を中心としたメンバー構成だが、参加率が低く、地域全体での防犯の取組を検討、実施していく体制やメンバーの拡大が課題である。</li> </ul> <p>○地域全体での美化活動の検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的なアイデアが出され、実現可能性もあるが、それらを実行する主体を見出す必要がある。</li> </ul>
<p><b>今後の予定</b></p>
<p>○第3回防犯ワーキング会議</p> <p>日時 平成30年3月以降 未定</p> <p>事項 安心安全マップの更新と配布について、地域全体での美化活動の具体化、実施主体の検討</p>